

Pa-007

会場：C102

時間：6月26日 9:40-10:20

## 宇宙線生成核種による地球環境研究

The contribution of cosmogenic isotopes to the understanding of the environmental system

# 北川 浩之[1]

# Hiroyuki Kitagawa[1]

[1] 名大大気水研

[1] IHAS

宇宙線の作用で生成される放射性同位体(たとえばC14やBe10)は地球環境システムの解析に有効なトレーサーである。ここでは、福井県水月湖の湖底から採集されたラミナ状堆積物(年縞堆積物)の分析から復元された過去のC14濃度変動を例として、宇宙線生成核種を地球環境解析にどのように関連づけるかについて紹介する。

宇宙線の作用で生成される放射性同位体(たとえばC14やBe10)は地球環境システムの解析に有効なトレーサーである。ここでは、福井県水月湖の湖底から採集されたラミナ状堆積物(年縞堆積物)の分析から復元された過去のC14濃度変動を例として、宇宙線生成核種を地球環境解析にどのように関連づけるかについて紹介する。